

## 各教科における授業研究フロー例

### ① 学習指導案の作成

- ・ 授業者は学習指導案を作成する。
- ・ 授業者を含め、複数人による学習指導案の検討を少なくとも1回は行う。  
※改訂前後のすべての指導案を保存しておく、振り返りに活用できる。  
※欠席者のために、可能であれば、複数人による学習指導案検討の映像と音声のデータや、メール等でのやりとりを記録として残しておくといよい。

### ② 学習指導案の事前配付

- ・ 研究授業の参画者に対して、概ね1週間前に学習指導案を配布する。
- ・ 研究授業に参観する者は、研究授業の実施日まで指導案を熟読する。

### ③ 研究授業の実施

- ・ 参観者は「授業記録用紙」（シート A）に研究授業の記録を行う。  
※研究授業をビデオで撮影しておく、記録として残すことができる。

### ④ 研究授業の振り返りシートへの記述

- ・ 参観者は「授業の振り返りシート」（シート B）（内容は各教科でご検討ください。）に研究授業の振り返りを記述する。  
※必ず、研究協議会の実施前に行ってください。

### ⑤ 研究協議会の実施

- ・ 研究協議会の実施方法は各主催者によるが、基本的には次の内容があることが望ましい。

- (1) 授業者の自評
- (2) 参観者による質問と授業者によるその応答
- (3) 参観者による授業への意見・感想
- (4) 授業に対する担当指導者の指導・講評

※研究協議会も、ビデオで撮影しておくといよい。

### ⑥ データや記録の提出

- ・ 授業者や主催者は、参観者の「授業記録用紙」（シート A）、「授業の振り返りシート」（シート B）のコピーをとると、記録として残すことができる。